

高円宮杯2016ホッケー日本リーグ 【女子】 第2節 第3日

開催日時 4月23日(土) 会場 広島広域公園第二球技場 天候 晴れ

【全試合結果】

第1試合 09:30～

立命館ホリーズ	0	$\begin{pmatrix} 0 & - & 0 \\ 0 & - & 0 \\ 0 & - & 0 \\ 0 & - & 1 \end{pmatrix}$	1	駿河台大学
0 勝 0 分 3 敗 勝点 0			勝点 3	1 勝 0 分 2 敗

第2試合 11:10～

天理大学	1	$\begin{pmatrix} 1 & - & 0 \\ 0 & - & 0 \\ 0 & - & 0 \\ 0 & - & 0 \end{pmatrix}$	0	聖泉大学
2 勝 0 分 1 敗 勝点 6			勝点 0	0 勝 0 分 3 敗

第3試合 12:50～

南都銀行 SHOOTING STARS	3	$\begin{pmatrix} 0 & - & 0 \\ 1 & - & 1 \\ 1 & - & 0 \\ 1 & - & 0 \end{pmatrix}$	1	東海学院大学
3 勝 0 分 0 敗 勝点 9			勝点 3	1 勝 0 分 2 敗

第4試合 14:30～

ソニーHC BRAVIA Ladies	2	$\begin{pmatrix} 0 & - & 0 \\ 1 & - & 1 \\ 1 & - & 0 \\ 0 & - & 0 \end{pmatrix}$	1	グラクソ・スミスクラインOrangeUnited
3 勝 0 分 0 敗 勝点 9			勝点 3	1 勝 0 分 2 敗

第5試合 16:10～

コカ・コーラウエストレッドスパークス	4	$\begin{pmatrix} 1 & - & 0 \\ 1 & - & 0 \\ 2 & - & 0 \\ 0 & - & 0 \end{pmatrix}$	0	山梨学院CROWNING GLORIES
3 勝 0 分 0 敗 勝点 9			勝点 3	1 勝 0 分 2 敗

第1試合

立命館ホリーズ 0 $\begin{pmatrix} 0 & - & 0 \\ 0 & - & 0 \\ 0 & - & 0 \\ 0 & - & 1 \end{pmatrix}$ 1 駿河台大学

勝点 0

勝点 3

0 勝 0 分 3 敗

1 勝 0 分 2 敗

得点			
	駿河台大→57分下向		
戦評	立命館Hのセンターパスにより試合が開始された。試合開始から立命館Hがペースを握り果敢に攻めるもサークルにはなかなか入れずチャンスを作れない。第2Qに入っても立命館Hが攻め込み、16分立命館HがPSを獲得するも、駿河台大GK長岡に止められ得点にできない。するとここから流れは変わり、駿河台大は相手陣地でのパスカットも増え48分PCを獲得するもボールが止まらずシュートは打てない。その後も駿河台大は攻め続け、57分FW#7下向がゴール前で押し込み待望の先制点をあげる。立命館Hも58分にPCを獲得し、ヒットシュートを打つもキーパーのファインセーブに阻まれて得点できない。試合はそのまま駿河台大が、貴重な1点を守り切り勝ち点3にした。		
テクニカルオフィサー ジャッジ	一ノ瀬 元史 鈴木 岳穂	アンパイア	山田 恵美 中元 大輔

第2試合

天理大学 1 $\begin{pmatrix} 1 & - & 0 \\ 0 & - & 0 \\ 0 & - & 0 \\ 0 & - & 0 \end{pmatrix}$ 0 聖泉大学

勝点 6

勝点 0

2 勝 0 分 1 敗

0 勝 0 分 3 敗

得点	天理大→14分正岡		
戦評	天理大のセンターパスにより試合が開始される。14分天理大はPCを獲得し、FB#20正岡がヒットシュートを決め先制する。第2Qに入っても天理大は果敢に攻め込みシュートを打つも聖泉大のキーパーに阻まれる。第3Q、第4Qに入っても天理大が押し気味に試合を展開し、何度もシュートを打つもキーパーに阻まれ追加点をあげることができず試合はそのまま1-0で天理大が勝利し、勝ち点6とした。		
テクニカルオフィサー ジャッジ	安枝 和子 勝又 佳蓮	アンパイア	藤原 真由美 内田 太

第3試合

南都銀行 SHOOTING STARS 3 $\begin{pmatrix} 0 & - & 0 \\ 1 & - & 1 \\ 1 & - & 0 \\ 1 & - & 0 \end{pmatrix}$ 1 東海学院大学

勝点 9

勝点 3

3 勝 0 分 0 敗

1 勝 0 分 2 敗

得点	南都→22分吉川、44分西永、52眞鍋		
	東海学院→19分田村		
戦評	東海学院のセンターパスにより試合が開始された。第1Q9分、南都銀行はPCを獲得するが得点には至らず。15分、南都銀行は素早いパス回しからシュートを放つもGKの好守に阻まれ先制のチャンス逃す。第2Qに入るも東海学院はカウンター攻撃からPCを獲得、#5田村がヒットシュートを決め東海学院が先制する。その3分後、南都銀行はサークル内でのこぼれ球を#6吉川が押し込み同点に追いつく。その後も両チーム中盤での攻防が続くが得点には至らず1-1で前半を終える。第3Q開始早々、南都銀行は猛攻を仕掛ける。39分、立て続けに攻める南都銀行はPCを獲得するが、またもやGK#1井戸田の好セーブに阻まれ追加点を得ることができない。3Q終了間際、南都銀行はサークル内でフリーの#20西永がシュートを確実に待望の追加点を得る。第4Qに入るも攻撃の手を緩めない南都銀行は#9野村が巧みなドリブルからシュートをするが、GK#1井戸田の好セーブに阻まれる。52分、PSを獲得した南都銀行は#3眞鍋が確実に決め東海学院を突き放す。その後も両者一進一退の攻防が続くが得点には至らず、3-1で南都銀行が勝利を収めた。		
テクニカルオフィサー	井上 美幸	アンパイア	我妻 順子
ジャッジ	新本 勝、勝又 舞、竹元 里紗		山口 千恵美

第4試合

ソニーHC BRAVIA Ladies 2 $\begin{pmatrix} 0 & - & 0 \\ 1 & - & 1 \\ 1 & - & 0 \\ 0 & - & 0 \end{pmatrix}$ 1 グラクソ・スミスクリンOrangeUnited

勝点 9

勝点 3

3 勝 0 分 0 敗

1 勝 0 分 2 敗

得点	ソニーHC→18分永井(葉)、43分深野		
	グラクソ→26分吉田		
戦評	グラクソのセンターパスにより試合が開始された。開始からお互い譲らず、両チームサークル内に入ることもできない。第2Q開始早々、果敢に攻めるソニーはサークル内でファールを誘いPCを獲得。リバウンドボールを#18永井がヒットシュートを決め、ソニーが先制する。その後もソニーは立て続けにシュートを放つも枠をとらえることができず得点のチャンス逃す。必死の守りを見せるグラクソもカウンター攻撃からPCを獲得、#2吉田がヒットシュートを決め同点とする。その後もベテラン同士の激しい攻防が続くが両チーム得点することなく同点のまま前半戦を終える。第3Qに入るも攻撃の手を緩めないソニーは、39分立て続けにPCを獲得するがグラクソのディフェンス陣に阻まれ追加点を得ることができない。その4分後、ソニーは#18永井のセンターリングから#8深野がタッチで合わせ、ソニーが1点リードする。第4Qソニーは再三のチャンスを作るもグラクソの堅守に阻まれ得点することができない。対するグラクソもカウンター攻撃からサークル内に侵入するもシュートすることができず、試合は2-1でソニーが勝利を収めた。		
テクニカルオフィサー	一ノ瀬 元史	アンパイア	山田 恵美
ジャッジ	吉井 貴子、内藤 夏紀、関根 由美子		壽山 由樹

ホッケー日本リーグ機構

第5試合

コカ・コーラウエストレッドスパークス 4 $\begin{pmatrix} 1 & - & 0 \\ 1 & - & 0 \\ 2 & - & 0 \\ 0 & - & 0 \end{pmatrix}$ 0 山梨学院CROWNING GLORIES

勝点 9

勝点 3

3 勝 0 分 0 敗

1 勝 0 分 2 敗

得点	コカ・コーラ→7分加藤、22分加藤、33分藤井、38分佐藤		
	山梨学院→		
戦評	コカ・コーラのセンターパスにより試合が開始された。第1Q7分、コカ・コーラ素早いパス回しからサークル内に侵入。#13加藤がリバースを決め早くも先制点を得る。第2Qに入るも猛攻を仕掛けるコカ・コーラは、22分#11笠原が右サイドからのセンタリングを#13加藤が合わせ追加点を得る。対する山梨学院もカウンター攻撃を仕掛けるがコカ・コーラの堅い守りに阻まれる。その後も両者一進一退の攻防が続くが得点には至らずコカ・コーラが2点リードで前半戦を折り返す。第3Q開始早々PCを獲得したコカ・コーラは#18藤井が鮮やかなフリックシュートを左上に決め山梨学院を突き放す。その後も立て続けに攻めるコカ・コーラは#19金藤からのパスを受けた#15佐藤がキーパーとの1対1を落ち着いて決め、4点差とする。終始コカ・コーラが攻め続け4-0で勝利を収め勝ち点9とした。		
テクニカルオフィサー	井上 美幸	アンパイア	根岸 郁美
ジャッジ	横野 貴子、鈴木 岳穂 藤田 佳緒		児玉 茂樹